

# 杉原志伸 学位論文審査要旨

主 査 西 村 元 延  
副主査 久 留 一 郎  
同 山 本 一 博

## 主論文

Ultrasound assessment of kidney volume in patients with acute decompensated heart failure: a predictor of diuretic resistance

(急性非代償性心不全患者における腎容積の超音波評価：利尿薬抵抗性の予測因子)

(著者：杉原志伸、衣笠良治、高田知朗、杉原誉明、法正恵子、今井智登世、伊藤博美、山田健作、加藤雅彦、山本一博)

平成29年 Yonago Acta Medica 60巻 135頁～144頁

## 参考論文

1. Depletion of uric acid due to SLC22A12 (URAT1) loss-of-function mutation causes endothelial dysfunction in hypouricemia

(SLC22A12 (URAT1) の変異機能欠損による尿酸低下は低尿酸血症患者における内皮機能障害をきたす)

(著者：杉原志伸、久留一郎、桑原正成、丹羽公一郎、Nani Maharani、加藤雅彦、荻野和秀、濱田紀宏、二宮治明、東幸仁、市田公美、山本一博)

平成 27 年 Circulation Journal 79 巻 1125 頁～1132 頁

2. Child ego state is associated with high prevalence of repeated hospitalizations in patients with heart failure

(心不全患者においてチャイルドエゴ状態は再入院の高発生率と関連する)

(著者：柳原清孝、衣笠良治、城田欣也、井上義明、石井裕繁、角田文代、岩田正明、杉原志伸、竹田伸也、平井雅之、三村麻郎、加藤雅彦、山本一博)

平成 28 年 ESC Heart Failure 3 巻 18 頁～25 頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

急性心不全治療における利尿剤抵抗性は心不全患者の生命予後と関連することが明らかとなっているが、利尿剤抵抗性を予測する指標として確立されたものはない。本研究は、利尿剤抵抗性を予測する指標についての因子を検討した結果、腹部超音波検査で算出した左腎容積が急性心不全患者の利尿剤抵抗性を示す指標として有用である可能性を示した。本論文の内容は、心不全患者に対する治療方針の選択における重要な指標を示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。